

■一般目標 (GIO)

部分床義歯の構成要素である支台装置のうちの線鉤および連結装置であるリングルバーについて、設計の基本と製作法の注意点を理解する。

■到達目標 (SBOs)

- ・ 屈曲法とプライヤーの基本的な使用法を習得できる。
- ・ 鋳造レストのパターン形成から埋没、鋳造、研磨までの技工操作を習得できる。
- ・ 頬側線鉤、舌側鋳造鉤のコンビネーションクラスプの製作方法を習得できる。
- ・ 連結装置としてのリングルバーについて、基本的な屈曲法と使用するプライヤーの取り扱いを理解できる。

■教科書：最新歯科技工士教本 有床義歯技工学（医歯薬出版）

■参考資料：プリント配付

■授業時間：月～金曜日 18:00～21:15

■オフィスアワー：今井 秀行 (imai.hideyuki@nihon-u.ac.jp) 月～金曜日 17:00～17:45

■成績評価：実習製作物を評価（100%）し、フィードバックを行う。

■注意事項：定められた工程で検印を受け先に進める。検印のない製作物は評価しないので注意すること。

■授業方法：模型を用いた技工作業を実習形式で行う。

■準備学習：実習内容に関連する項目を事前に教科書で確認しておくこと。

■準備学習時間：必要な時間（1時間程度）を充てて予習を行うこと。

■実務経験：今井 秀行：歯科技工士としての臨床経験をもとに、本教科で学ぶ内容や理論、手技を補綴装置の製作にどう生かせるかを歯科技工士の立場から、わかりやすく丁寧に教えていく。

■関連教科：有床義歯技工学（部分床義歯技工学）（1年）

■アクティブラーニング：グループワーク、ディスカッション

■予定表：

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
第1回7月23日 今井 秀行	1. 部分床義歯 義歯床用レジンの填入, 重合	・ レジンの填入法および重合法について理解できる。
第2回7月25日 今井 秀行	2. フラスク開盆 3. 研磨（1）	・ フラスクからの重合した義歯の取り出し法について理解できる。 ・ フラスクからの重合した義歯の取り出し法と注意点を習得できる。 ・ 義歯の研磨法について理解することができる。
第3回7月30日 今井 秀行	3. 研磨（2）	・ 義歯の研磨法について理解することができる。
第4回7月31日 今井 秀行	3. 研磨（3）	・ 義歯の研磨法について理解することができる。
第5回8月1日 今井 秀行	3. 研磨（4） 4. 部分床義歯の完成, 提出	・ 義歯の研磨法について理解することができる。 ・ 完成義歯を提出し評価を受ける。
第6回8月2日 今井 秀行	5. 線鉤の設計 1) サベイング 2) 設計 3) リリーフ	・ 線鉤および屈曲リングルバーの製作工程を理解する。 ・ サベイヤーを使用し、義歯の着脱方向の決定、支台歯および顎堤のアンダーカットの計測を行い、支台装置と連結装置の設計の基本を理解する。

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
		<ul style="list-style-type: none"> ・支台歯および顎堤のブロックアウトとリリースについて理解する。 ・作業模型の製作法について理解する。 ・予測サベイングを行い、義歯の着脱方向を決定し、必要なサベイング操作を修得する。 ・線鉤およびリングルバーの目的および働きを理解し、設計の注意点を修得する。
第7回8月26日 今井 秀行	6. 2腕鉤(1線法)の製作 1) 屈曲	<ul style="list-style-type: none"> ・2腕鉤における屈曲法とプライヤーの基本的な使用法を習得できる。 ・1線法における鉤腕の屈曲方法を理解できる。
第8回8月27日 今井 秀行	6. 2腕鉤(1線法)の製作 1) 屈曲	<ul style="list-style-type: none"> ・2腕鉤における屈曲法とプライヤーの基本的な使用法を習得できる。 ・1線法における鉤腕の屈曲方法を理解できる。
第9回8月28日 今井 秀行	6. 2腕鉤(1線法)の製作 1) 屈曲	<ul style="list-style-type: none"> ・2腕鉤における屈曲法とプライヤーの基本的な使用法を習得できる。 ・1線法における鉤腕の屈曲方法を理解できる。
第10回8月29日 今井 秀行	5. リンガルバーの製作 (1) 1) リンガルバーの屈曲 2) 研磨	<ul style="list-style-type: none"> ・連結装置としてのリングルバーについて、基本的な屈曲法と使用するプライヤーの取り扱いを理解できる。 ・義歯床内での保持形態と研磨の注意点を理解できる。
第11回8月30日 今井 秀行	4. リンガルバーの製作 (2) 1) リンガルバーの屈曲 2) 研磨	<ul style="list-style-type: none"> ・連結装置としてのリングルバーについて、基本的な屈曲法と使用するプライヤーの取り扱いを理解できる。 ・義歯床内での保持形態と研磨の注意点を理解できる。
第12回9月2日 今井 秀行	4. 線鉤, リンガルバーの完成・提出	<ul style="list-style-type: none"> ・線鉤, リンガルバーを提出し、評価を受ける。